

広報

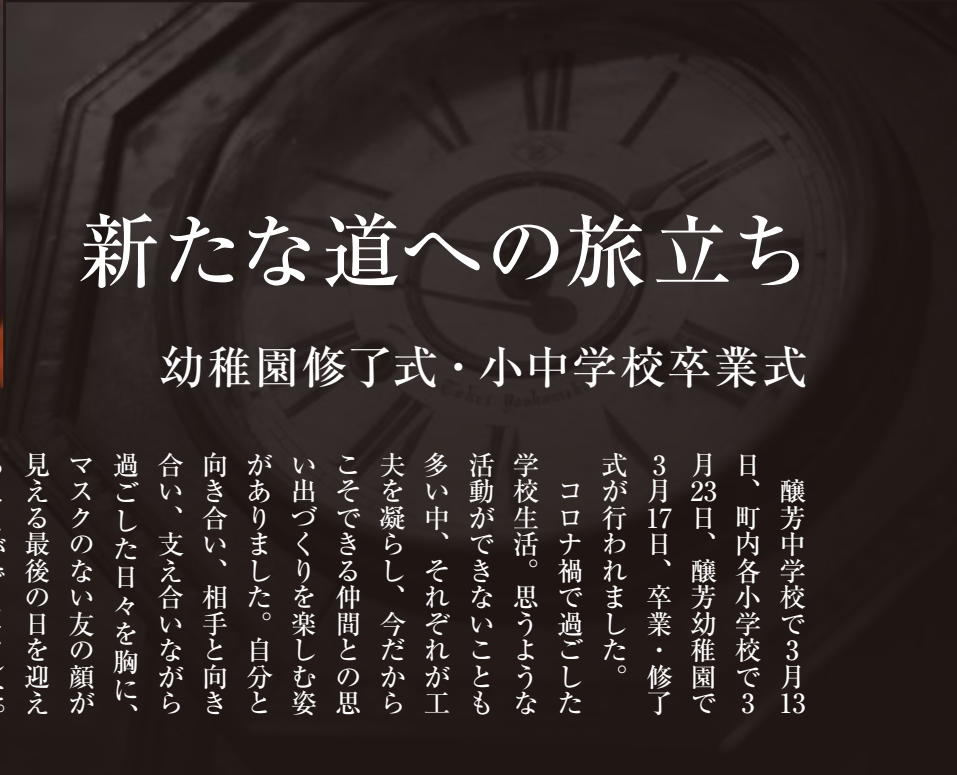
4

Apr.2023
vol.640

たくさんの人に「ありがとう」を
「醸芳中学校卒業式」



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち



新たな道への旅立ち

幼稚園修了式・小中学校卒業式

醸芳中学校で3月13日、町内各小学校で3月23日、醸芳幼稚園で3月17日、卒業・修了式が行われました。

コロナ禍で過ごした学校生活。思うような活動ができないことも多い中、それぞれが工夫を凝らし、今だからこそできる仲間との思い出づくりを楽しむ姿がありました。自分と向き合い、相手と向き合い、支え合いながら過ごした日々を胸に、マスクのない友の顔が見える最後の日を迎えることができました。

卒業生・修了児たちは、かけがえない思い出が詰まった学び舎を背に、新たな道へ歩き出しました。



受賞児童・生徒喜び語る 小・中学校合同受賞報告会



1 日ごろの努力が報われ、名誉ある賞を受賞した18人の子どもたちと教職員の皆さん
2 町長が受賞者一人一人に、記念品を贈呈しました

各種コンクールや大会において、優秀な成績を収めた児童生徒・教職員の功績を称える「合同受賞報告会」が2月22日、「イコゼ！」で開かれました。はじめに、受賞者一人一人が、受賞内容や感想を高橋宣傳町長に報告。作品や大会に対する思いや、受賞した経験を経て、新たな目標に向けての抱負などを話しました。

町長は「皆さんの思いを聞いて、達成感がひしひしと伝わり、頼もしく感じた。人としての基本を身に付け、強みを発揮し、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子となるよう、今後も応援していく。将来、それぞれの得意分野で活躍することを期待している」と話し、受賞者一人一人と、喜びを分かち合いました。

受賞者の皆さん（順不同・敬称略）

◆全国花のまちづくりコンクール
花のまちづくり

入選 飼育栽培委員会委員長 中川 雄太

◆小中学生まちづくり大賞 活動部門
（ふくしまジュニアチャレンジ）

銀賞 伊達崎小5年代表 大槻 麗美

◆地域安全標語コンクール
暴力団への加入阻止部門

最優秀 醸芳中1年 畑 美羽

優秀 醸芳中1年 渡邊 朔伽

優秀 醸芳中3年 斉藤 愛加

幅広い世代が参加する
防犯ボランティア活動中学生の部

優秀 醸芳中2年 忍 ひなた

◆青少年赤十字「詩・100文字提案」

日本赤十字社 陸合小6年 浅野 蓮心

◆県書きぞめ展

奨励賞 醸芳小6年 緑上 舞香

◆青少年読書感想文県コンクール

入選 伊達崎小4年 後藤 夢花

入選 半田醸芳小2年 野村 優衣

◆みんゆう新聞感想文コンクール
中学生の部

優秀賞 醸芳中3年 菅野 笑瑚

◆県算数ジュニアオリピック

奨励賞 醸芳小5年 菊地 優那



▲受賞者一人一人が喜びを高橋町長へ報告

◆県小学生リレーカーニバル
男子走り幅跳び

第1位 醸芳小6年 伊藤 瑞輝

◆全日本中学校陸上競技選手権大会
共通男子3000m 出場

◆全日本中学校通信陸上競技福島大会
共通男子3000m 第3位

醸芳中2年 朽木 悠翔

◆民報杯県中学校新人陸上競技大会
1年女子走幅跳

優勝 醸芳中1年 佐藤 真帆

◆県中学校体育大会水泳競技
男子400m個人メドレー 第7位

（東北標準突破）
男子200m個人メドレー 第8位

醸芳中3年 高橋 優作

◆教育・文化関係表彰特別功績者
（県教育委員会表彰）

優秀教職員 伊達崎小教諭 小野 紘子

SDGs推進環境保全 作品コンクール

小学4年生以上を対象に、「不法投棄防止」や「ごみの減量化」などをテーマとしたSDGsに関するポスター・標語作品コンクールの表彰式が3月6日、役場で行われました。優秀作品に選ばれた作品を紹介します。

受賞者の皆さん（順不同・敬称略）

【ポスターの部】

◆町長賞

「私たちの資源を大切に!!」



陸合小6年 齊藤 優空

◆町教育委員会教育長賞

「不法投棄はやめましよう」



醸芳小5年 長澤 冬真

【標語の部】

◆町SDGs推進町民会議会長賞

ごみへらし まちもこころも かがやこう

半田醸芳小5年 鈴木 萌心

◆入選

まちのゴミ 減らすためには 個ころがけ

伊達崎小6年 角館 真宙

◆入選

ごみ減量 明るい未来の 第一歩

伊達崎小5年 大槻 絢香

◆入選

ポイ捨ては ひとの心も よこすもの

醸芳小5年 小山 晴快空

◆入選

分別で 大事な資源 リサイクル

半田醸芳小5年 丹野 里菜



醸芳小6年 五十嵐 璃音

◆町議会議長賞

「キレイな町へ」

◆副町長賞

「食品ロス なくそう」



陸合小5年 佐藤 望美

▶応募総数465点の中から各賞に選ばれ、笑顔を見せる皆さん

火 町女性消防隊による防災教育 の元に気を付けて

町女性消防隊による防災教育が2月20日、醸芳幼稚園で開かれ、年長組を対象に、紙芝居の読み聞かせや寸劇が披露されました。

紙芝居では、ライターやストーブ、花火など、身の回りにある火の元の危険性や取り扱いについて説明。寸劇では、服に火がついてしまったときや、室内に煙が充満したときの対処法などを実演しました。園児らは、火の怖さを想像しながら、掛け声をかけたり、自分のポケットから取り出したハンカチで口を抑えたりして、隊員と一緒に火災予防について学びました。



▲「防火」と書かれた法被を着用した園児たちと寸劇を披露する女性消防隊

災 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車交付式 害対応能力のさらなる向上

町消防団第4分団第4部に対する救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の交付式が2月26日、役場駐車場で行われました。

交付されたポンプ自動車は、消防庁より無償で町へ貸与されたもので、町では、3台目の資機材搭載型消防自動車配備となります。当車両は、エンジンカッターやチェンソーなどの救助資機材が搭載されています。町消防団では、交付された車両を活用した訓練を実施し、地域防災の要である消防団員の災害対応能力の向上に努め、地域防災力の一層の強化を図ります。



▲消防ポンプ自動車を交付された町消防団第4分団第4部の皆さん

醸 ライオンズ文庫購入費贈呈 中生に新しい本をプレゼント

桑折ライオンズクラブは2月15日、醸芳中学校図書室に設置してあるライオンズ文庫の新しい図書購入費用として、目録を贈呈しました。

地域の子どもの知見向上を目的としたこの事業は、今回で8年目。当日は、中学校の図書室で、佐藤徳雄会長から図書委員長の渡邊空さんへ目録が贈られました。渡邊さんは「毎年支援をいただいております。本の好みは人それぞれなので、さまざまな分野の本を増やし、誰でも利用できる図書室にしていきたい」と話しました。



▲佐藤会長から目録を受け取る図書委員長の渡邊さん（写真右）

伸 桑折ライオンズクラブ ヘアドネーション感謝状贈呈 ばし続けた髪を、誰かのために

桑折ライオンズクラブは3月1日、病気やけがで頭髪を失った子どもたちの医療用ウィッグ（かつら）を作るために、髪の毛を寄付するヘアドネーションの活動に参加した八代仁菜さんへ、感謝状を贈呈しました。

仁菜さんは、町広報紙や寄付経験のある友達の姿を見て、同活動を知り、約4年間伸ばし続けていた髪の毛を、美容師である祖母に切ってもらい、活動団体へ無償で提供しました。仁菜さんは「誰かの役に立ててうれしい。また活動に協力したい」と話しました。



▲佐藤会長から笑顔で感謝状を受け取る八代さん（写真左）

農業分野9人目の地域おこし協力隊員 委嘱状交付式



▲高橋町長（写真左）から委嘱状を受け取り、協力隊としての活動に意気込む坂田さん（写真右）

町特産桃の産地・維持継承を目的に、桃農家を目指す地域おこし協力隊の委嘱状交付式が2月27日、役場で行われました。

今回委嘱を受けたのは、東京都から移住された坂田星成さんです。坂田さんは、佐藤親さん（下郡上代）の元で、桃などの栽培技術や農業経営について学びます。

交付式では「まずは、一流の技術習得を第一の目標に、活動していきたい」と決意を述べました。

町の農業部門における地域おこし協力隊は9人目。受入農家の元で研修を受けるとともに、地域振興に協力しながら、「献上桃の郷 桑折町」で、全国に誇れる極上の桃の生産者になることを目指して活動します。

日本一のシラネアオイ群生地を目指して 半田山愛草会が町へ監視カメラを寄贈



▲高橋町長（写真左）に監視カメラを贈呈する半田山愛草会の岡崎会長（写真右）

半田山自然公園に生育しているシラネアオイの保全・育成を行う半田山愛草会から、盗掘を防止するための監視カメラが寄贈され、その贈呈式が2月28日、役場で行われました。

町が寄贈を受けたのは、人感センサーを内蔵し、自動で撮影を行う監視カメラ4台で、夜間も撮影が可能。監視の行き届かない公園内の防

犯に役立てます。

同会会長の岡崎吉一さんは「10年ほど前から、シラネアオイの保全・育成活動に取り組んできた。町の協力も得ながら半田山自然公園を日本一のシラネアオイ群生地にしたい」と話しました。

町は、公園内の対象エリアに監視カメラを設置し、防犯対策の強化を図ります。

広 告

広 告

令和5年度 桑折町役場職員配置表									
■町長 高橋宣博					■副町長 田中香代子				
総務課 (選挙管理委員会事務局) 課長 (事務局長) 大槻公彦 総務課付課長 菊田祐子 課長補佐 佐藤正浩 (12)	行政係長：(佐藤正浩)				建設水道課 課長 佐藤浩 副参事 横山雄二 課長補佐 石幡浩一 (18)	建設係長：早田圭一郎			
	渡邊義充 遠江大輔 松原健士 平塚優里奈 蓬田洋光 広瀬友秀 宮澤直樹 (県派遣)					安彦智宏 松野哲士			
	財政係長：横山美智子					都市整備係長：大槻真一			
税務住民課 課長 鈴木清志 (15)	大内聡洋 鴨田智早 古川亮輔				生活環境課 課長 菅野泰央 (7)	大槻伸弘 坂田勝則 吉田拓夢 和田真結子			
	課税係長：佐藤美智子					上下水道係長：遠藤英隆			
	大越秀章 安彦洋平 上野幸子 安田円					鈴木克仁 鈴木淳也 浅尾智英 八巻隆昭 蓬田祐一 岩崎雅和			
	収納係長：石幡勝弘					環境係長：吾妻和範			
総合政策課 課長 大内健矢 (8)	門脇尚比古 扇田咲音				会計室 管理者兼室長 小室喬一 (3)	渡辺了介 熊田智徳			
	住民国保係長：安藤雅規					危機管理係長：幕田将則			
	松原義行 佐藤俊介 早田こず恵 藤島わかば 朽木枝里子					朽木健太郎 宮澤鈴乃			
	出納係長：八木沼久美					蒲生わかな			
健康福祉課 課長 本多輝久 課長補佐 佐久間ミチル (16)	政策推進係長：佐藤剛史				教育委員会 ■教育長 会田智康				
	藤倉佳嗣 岡崎智仁 國井拓真 阿部 昇				教育文化課 課長 長谷部清治 副参事 佐藤克彦 (35)	こども教育係長：菅野健二			
	広報広聴係長：佐藤秀樹					刀根奈美 阿部典子 服部亜由美 小山大樹 佐藤智恵子 渡邊俊介			
大越 嶺				給食センター所長：安藤恭子					
産業振興課 (農業委員会事務局) 課長 (事務局長) 八巻靖之 (11)	健康増進係長：阿部健二				議会事務局	醸芳幼稚園長：齋藤小百合			
	菅野則子 武氣昂平					吉田 恵 齋藤清子 佐々木睦子			
	福祉介護係長：小出素子					菅野葉子 藤田三穂子 山家ちか子			
	鈴木深雪 大塚智広 菅野 茜 菅野 綾 坂田美保 野田亜実					本間祥子 阿部真美 半澤祥正 中山うらら			
	子育て支援係長：鈴木裕子					醸芳保育所長：三村隆二			
	菅野恵梨華 村上桃子 三村孝子					八巻美奈子 本田裕美 大塚若菜 佐藤杏子 佐藤恭子 遠藤 樹 片平真由美			
	農林振興係長：吉田安孝					生涯学習係長：斉藤雅史			
	蓬田剛志 後藤尚子 遠藤徳昭 小野地俊介 宮田正大 朽木紀夫 荒川光弘					井沼千秋 鈴木真英 本田卓也 丹治愛莉 谷津朋征			
	商工振興係長：安藤智章 (小野地俊介) 安田 耕								
※ () 書き氏名は兼務者 ※ () 内数字は各所属職員数					事務局長 山木裕人 (2)		庶務議事係 佐藤秀信		

新規採用職員

生まれも育ちも桑折町です。近年の桑折町は、交通の便がさらに良くなり、近隣には大型商業施設も出来る予定で、ますます発展していく町だと感じています。町のことをよく知り、さらなる発展のために、全力で頑張ります。



総務課
蓬田 洋光

新任課長

国土交通省福島河川国道事務所から出向で参りました。さらなる町勢発展のため頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

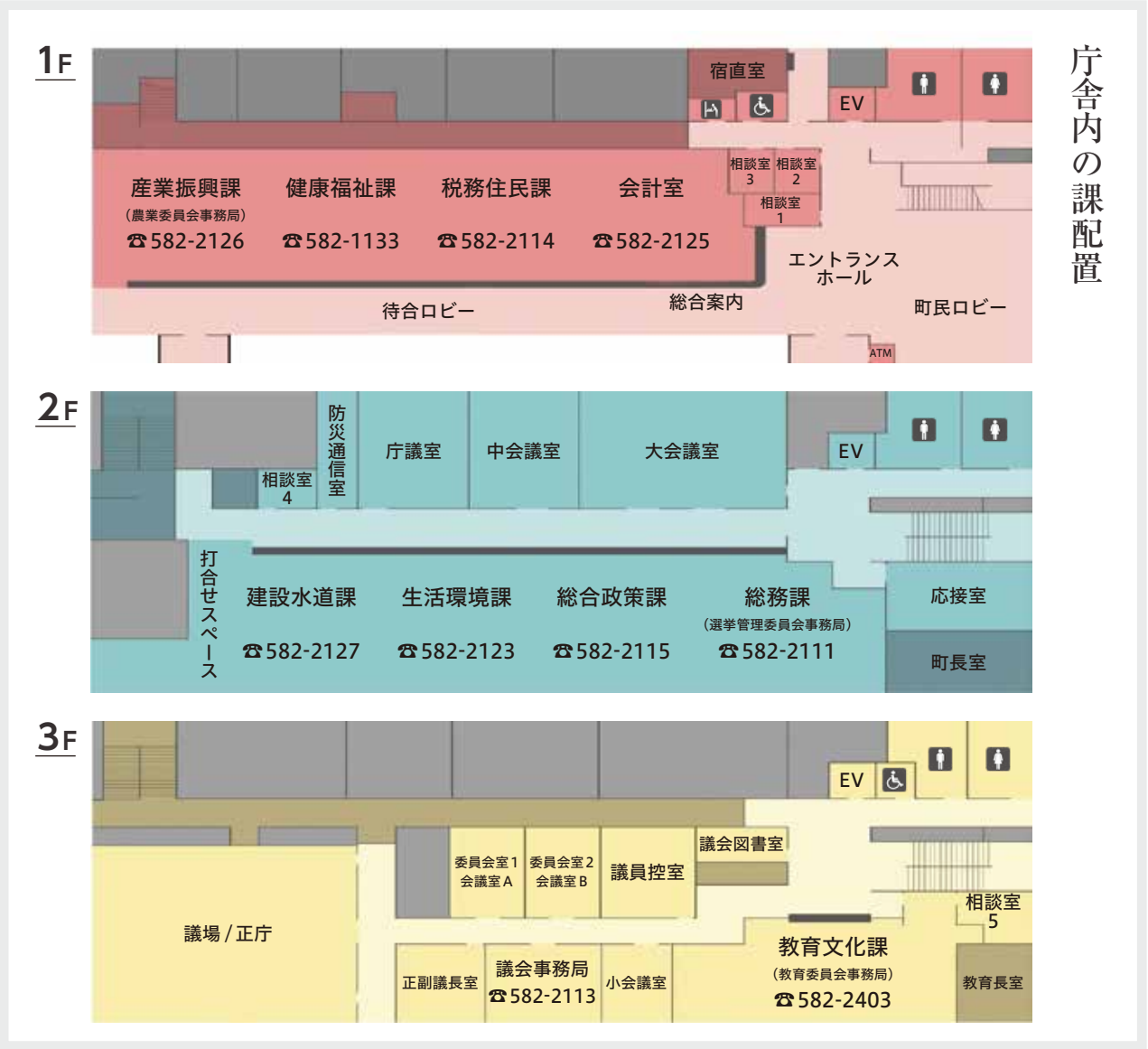


参事兼建設水道課長
佐藤 浩

職員人事

4月1日からの組織体制をお知らせします(敬称略)。

人事交流			退職者	
(国交省へ復帰) 参事兼建設水道課長 長谷川 聡	(福島県へ出向) 総務課付主査 宮澤 直樹	(福島県へ復帰) 産業振興課主事 磯上 聡一郎	参事兼会計管理者 兼会計室長 広瀬 友秀	健康福祉課統括保健師 兼課長補佐 関根 佳代子
(福島県より復帰) 産業振興課主査 小野地 俊介	(福島県より出向) 総合政策課主事 國井 拓真		教育文化課 醸芳幼稚園主任教諭 山室 貴代枝	



いきいき百歳体操 新グループ立ち上げ募集

概要

- 「いきいき百歳体操」では、体操や体力測定、健康講話などさまざまなイベントを行い、参加する度に「こおり健康ポイント」が貯まります。
- 現在、若い年代から90代まで21グループ約300人が参加しています。

立ち上げ方法

- 新たにグループを立ち上げたい人は、参加人数（5人以上）、活動場所を決め、健康福祉課 福祉介護係（☎582-1134）までご連絡ください。
- 立ち上げに関するご相談も受け付けています。
※体操に使用する物品は貸出可能です。

体操の方法と効果

- 方法 約40分間のDVDを観ながら椅子とおもいを使って体操する。
- 効果 筋力（体力）の向上、腰痛や関節痛の改善、骨粗しょう症の予防、認知症の予防、仲間づくりなど



体験会開催

日時：4月26日（日）
①10:00～12:00
②14:00～16:00

場所：やすらぎ園
対象：町民ならどなたでも
※申込不要
※健康ポイント対象

「新たなボランティア組織（仮称）」メンバー募集

概要

- 健康イベントのボランティアスタッフとして活動したり、健康講演会などに参加し、健康に関する知識を深め、家族や地域の人に知識を伝える活動を行う組織です。
- これまで、「桑折町保健協力員」組織として活動していましたが、より一層効果的な健康保持増進を図るため、「新たなボランティア組織（仮称）」としてリニューアルします。
※保健協力員から配付されていた健（検）診受診録は今年度から郵送となります。

申込

- 4月28日（金）までに、健康福祉課 健康増進係（☎582-1133）まで電話で申し込み。

食生活改善推進員募集

概要

- 「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、「毎月17日は減塩の日」啓発活動や健康測定会などのスタッフとして活動する、食のボランティア組織です（現在25人）。

申込

- 4月28日（金）までに、健康福祉課 健康増進係（☎582-1133）まで電話で申し込み。

広 告

町民で「1日30分以上の運動なし」に該当する人（図1）は71.2%。これは、県62.8%、同規模市町村64.4%と比較して高い状況です。メタボ該当者・予備群の数は、少ない順で県内市町村第2位と良好ですが、町が掲げる目標値（図2）には達していません。

町では、運動習慣がある人を増やすために、ウォーキングチャレンジ事業やいきいき百歳体操など、さまざまな取り組みを行っています。興味のある事業があれば、ぜひ積極的に参加してみましょう。

町の現状と取り組み

図2	令和3年度	目標
メタボ該当者	19.8%	13%以下
メタボ予備群	10.7%	9%以下

図1	1日30分以上運動なし
桑折町	71.2%
同規模市町村	64.4%
福島県	62.8%

さまざまなリスクを軽減するために
身に付けよう運動習慣

皆さんは、日常生活の中でどのくらい運動をしていますか。運動を習慣化することは、生活習慣病などになるリスクや死亡率を低下させるだけでなく、心の健康にも効果をもたらすことが分かっています。高齢者においては、寝たきりなどの要介護状態になるリスクも減らす効果があります。健康な日々を過ごすために、運動を日常生活に取り入れてみましょう。

ウォーキングチャレンジ事業

概要

- 花王株式会社協力のもと、自分の「歩行の質（速度・バランス）」の改善を目指す事業。昨年度は50人が参加し、歩行年齢の改善が多くみられました。

対象

- おおむね70歳までの人約70人
※肥満傾向・メタボ該当者・メタボ予備群優先
※応募者多数の場合は調整させていただきます

期間

- 5月中旬～11月中旬

内容

- [5月中旬] 歩行の質・体組成測定、花王㈱スタッフによる歩行アドバイス
- [5～11月] 歩数計「ホコタッチ」を身に付けて生活し、月1回歩行結果確認
- [11月中旬] 再度、歩行の質・体組成測定をし、改善が見られたか確認

申込

- 4月24日（日）までに、健康福祉課 健康増進係（☎582-1133）まで電話で申し込み。



測定結果表

広 告

4

Apr.2023
Calendar

4/5

WED

広報こおり4月号・広報こおり「お知らせ版」
醸芳保育所入所式

6

THU

小中学校入学式

7

FRI

8

SAT

9

SUN

伊達セントラルクリニック ☎575-3215

10

MON

醸芳幼稚園入園式
健康チェック&相談日

11

TUE

ブックスタート
4・7か月児健診 (R4年11月・8月生)

12

WED

離乳食教室

13

THU

14

FRI

15

SAT

16

SUN

献上桃の郷の郷 元気ウォーク
なかのクリニック ☎575-2246

17

MON

18

TUE

10・11か月児健診 (R4年4月・5月生)

19

WED

広報こおり「お知らせ版」

20

THU

21

FRI

献血

22

SAT

レガレこおり5周年記念イベント

23

SUN

レガレこおり5周年記念イベント
ながえクリニック ☎575-1118

24

MON

25

TUE

すくすくカフェ「ママトーク」

26

WED

「いきいき百歳体操」体験会

27

THU

28

FRI

公民館事業「県立美術館鑑賞」

29

SAT

昭和の日
はばらクリニック ☎574-2522

30

SUN

キッズスクール 開講式
まつもとクリニック ☎582-4800
伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121

5/1

MON

2

TUE

広報こおり5月号・広報こおり「お知らせ版」
憲法記念日

3

WED

みどりの日

4

THU

5

FRI

こどもの日

●イコーゼ ●やすらぎ園 ☎休日当番医

◆母子手帳交付・すくすくの日

【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30

♥ベビールーム (1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者)

★キッズひろば (1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者)

▶「すくすく」(☎582-6045)へ事前に予約してください。

Recipe

管理栄養士のおすすめレシピ

キャベツたっぷり
お好み焼き

塩分
0.8g



■材料（4人分）

キャベツ …… 300g
はんぺん …… 80g
木綿豆腐 …… 80g
小麦粉 …… 大さじ4
水 …… 大さじ4
卵 …… 2個
中濃ソース …… 小さじ4
かつお節 …… 適量
あおのり …… 適量
油 …… 小さじ4

■作り方

①キャベツはせん切りにする。
②食品用ポリ袋にAを入れてよく揉む。
③フライパンに油を入れて熱し、②の半分を流し入れ、直径10cmくらいにのばし中火で3分焼く。裏返してふたをし、弱火でさらに4分焼く（同様にもう1枚焼く）。
④皿に盛り、Bをかけて出来上がり。

ここがポイント！

お好み焼きのつなぎをはんぺんと豆腐で代用し、小麦粉の量を少なくすることで、通常のお好み焼きよりエネルギーを約68%カットできます。

check

こおり健康ポイント対象
健康チェック&相談日

保健師や管理栄養士、看護師などによる健康相談を毎月実施しています。心身の不安などについてお気軽に相談ください。
・実施日 毎月10日（基本）
・受付時間 9:30～11:00
・場所 役場 1階 5番窓口
※毎月の相談日は、左記カレンダーでお知らせしています。
※筋肉量が測定できる「インボディ」に加え、1日の野菜摂取量が分かる「ベジチェック」も測定できます。
図健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

Koori Health

NEWS

みんなで遊ぼう
子育て支援事業

子育てアドバイザー

子育て世代包括支援センター「すくすく」

子育て世代包括支援センター「すくすく」・子ども家庭総合支援拠点

町では、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を行い、子どもたちの健やかな成長を手助けするために、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を健康福祉課内に設置しています。18歳未満のお子さんやご家族の不安・悩みを一緒に考え、関係機関と連携し、必要な情報提供や支援を継続的にを行い、子育て世代の皆さんをサポートします。

どんな相談ができるの？

●初めての妊娠、出産の心配ごと
●適切な母乳の量
●町の子育て支援の内容
●落ち着きがない、言葉を話さないなどの成長に関すること
●離乳食は何を食べさせたらいいか
●虐待やヤングケアラーについて など

誰が相談にのってくれるの？

保健師・助産師・管理栄養士・保育士など

どこに連絡すればいいの？

町子育て世代包括支援センター「すくすく」
☎024-582-6045（平日8:30～17:15）
✉sukusuku@town.koori.fukushima.jp

その他の支援事業

幼稚園就園前の親子を対象に、下記の内容で子育て支援事業を行っています。子どもや他の親子と一緒に遊んだりできるほか、悩みや相談をする場としても、ぜひご利用ください。

事業名	開催日	時間	場所	連絡先
ベビールーム	毎週月・木曜	10:00～11:30	イコーゼ！	子育て世代包括支援センター「すくすく」 ☎582-6045 ※当日朝9時～10時の間にお電話ください。
キッズひろば	毎週水・金曜			
すくすくカフェ「ママトーク」	第4火曜日			
離乳食教室 ※対象者には通知をします	年間5回	10:00～12:00	睦合公民館	健康福祉課 ☎582-1133 ※要事前予約
こおり母親クラブ「メロディ」	第3火曜	10:00～11:30	児童館	児童館 ☎582-1500
ぽかぽかクラブ「0歳ママのティーサロン」	第4金曜		ふれあい館	町社会福祉協議会（ボランティアセンター） ☎581-0255
みんなのカフェ「スマイル」	第2木曜	10:00～12:00		

アプリでもっと便利に

桑折町
子育てナビ
すくすく

便利な機能

●町の子育て情報の確認
●支援事業の実施日の確認
●予防接種スケジュール管理

●乳幼児健診日の確認
●イベントの案内
●子どもの成長記録 など

登録はこちら



広告

図書だより

図書館「よも～よ」 ☎582-5388

／ 今月のおすすめ ／

▶ 短編集を読んでみよう



一般書

■東大に名探偵はいない

市川憂人・伊与原新・新川帆立
辻堂ゆめ・結城真一郎・浅野皓生：著
（KADOKAWA）

著者全員東大卒。試験には出ない謎、あります。「泣きたくなるほどみじめな推理」「アスアサ五ジ ジシナル」「東大生のウンコを見たいか？」「片面の恋」「いちおう東大です」「テミスの逡巡」不思議なタイトルから紡ぎ出す東大ミステリアンソロジー！東大が生み出したミステリ界の俊英たちが仕掛ける謎を見破れるか？



児童書

■5年1組ひみつだよ 短編小学校1

吉野万理子：作
佐藤真紀子：絵 （静山社）

今日はだれの「ひみつ」を読もうかな？クラスメイトたちの短いお話15コ入り！1話読み切りで、どの話から、だれの話からでも楽しめるけれど、全部読み終わってみると、あの話の子がここにもいたり、この話の子があそこにもいたり…。ページをめくれば、まるでとなりの席の子とないしょ話をするような、新感覚の読書時間が始まります。

地域学校協働本部だより

■地域学校協働活動とは？

地域の高齢者や成人、学生、保護者、団体など、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動を指しています。町では、地域学校協働活動事業として、主に地域クラブのサポート、各学校・幼稚園の学習サポーター派遣を行っています。

■本の読み聞かせ活動

町内の読み聞かせサークル「ら・みるく」「コスモス」「ホットケーキ」の3団体は、各学校・幼稚園で読み聞かせのボランティアを行っています。子どもたちの発達段階や各学校・園の希望に合わせて本を選び、内容を工夫して実施しています。



★読み聞かせ講座を6月に開催予定です。基本から一緒に学んでみませんか。



1_歌に合わせて、まゆおねえさんと元気に踊る参加者の皆さん 2_子どもたちだけでダンスを発表

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

まゆおねえさんとダンス ファミリーダンス教室

こおりまちファミリーダンス教室が2月26日、イコーゼで開かれ、112人の親子が参加しました。

ゲストは、NHK おかあさんといっしょで活躍された、いとうまゆさん。「パンダうさぎコアラ」や「ぼよよん行進曲」などの歌に合わせて、親子で体を動かしたり、子どもたちだけでダンスを発表したりと、心地よい汗をかきながら楽しい時間を過ごしました。

とても気さくなまゆおねえさん。休憩時間には、子どもたちに囲まれるほどの人気ぶりでした。参加者からは「親子で体を動かして楽しかった」との声が聞かれました。



危険予測の大切さ学ぶ 危険予測トレーニング講座

高齢運転者を対象とした「危険予測トレーニング」講座が3月7日、イコーゼ！で開かれ、15人が参加しました。

講師は、福島北警察署桑折分庁舎の松永美香さん。受講生は、運転席からの映像を見ながら、運転中の危険な場面を予測し、見つけた危険のサインを発表しました。高齢運転者の事故報道が相次ぐ中で、道路や交通の状況を早く正しく認知することの大切さを学び、安全運転への意識を改めて高く持つことができました。



手作りおもちゃで遊ぼう キッズスクール

手作りおもちゃ教室が2月26日、イコーゼで開かれ、キッズスクールメンバー7人が参加しました。はじめに、手乗りブーメランや3枚羽の紙ブーメランを作成。上手く手元に戻ってくるように、羽根のひねり具合や投げ方を練習しました。次に、紙皿と紙コップで作った皿回しに挑戦。回し方を工夫しながら練習し、全員が短時間で皿回しを習得しました。閉講式では、今年1年の活動を振り返るとともに、来年度の活動に期待を込めて解散しました。



苔テラリウムづくり 郡役所deワークショップ

苔テラリウムづくりが3月11日と12日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で開かれ、子どもから大人まで32人が参加しました。

今回のワークショップでは、文化記念館の庭園に自生している苔を使用。ガラス容器に土と石、苔を入れていくと、小さな自然の風景が現れました。

初めて行われた国指定重要文化財「旧伊達郡役所」でのワークショップ。今後も、旧伊達郡役所が町民の憩いの場となるよう、さまざまな活用を図っていきます。

マルベリーこおり

☎マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

駆け引き楽しむモルック交流会

フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の交流会が3月11日、ふれあい公園で行われ、園児から高齢者まで30人が楽しみました。木製のモルック棒で、数字が書かれた12本の木の棒「スキットル」を倒し、ピッタリ50点を目指すシンプルな競技ですが、対戦チームとの駆け引きや戦略を立てる奥深さに、ハマる人が増加中です。

【次回の開催】

- 開催日 4月22日(土)
- 時間 10:00～11:30
- 場所 ふれあい公園
- 参加条件 どなたでもOK





ごみ減量化インフォメーション

図生活環境課
☎582-2123

町のごみ排出量（1人1日あたり）は、1,247g（令和3年度）で、全国平均を大幅に上回っています。ごみの減量化は、地球温暖化の抑制など、環境保全につながる取り組みです。持続可能な社会を目指して、みんなでごみ減量化を進めていきましょう！

ごみの出し方教室

ごみの出し方教室が2月21日、上郡上代集会所で行われ、サロン会員15人が参加しました。町職員がごみの排出量を減らすための取り組み事例や資源物のリサイクルについて紹介し、地域でどのような取り組みができるか、参加者同士で活発な意見が交わされました。

ごみの出し方教室は、随時実施しています。町職員が、地域の皆さんのもとへ伺いますので、各種集会などの機会に、ぜひ活用ください。

アプリでごみの出し方確認

福島県が運用するスマートフォン用アプリ「福島県環境アプリ」は、各地域のごみ収集カレンダーや、ごみ分別辞典が搭載されています。居住地区を選択することで、**毎日のごみ収集内容が確認**でき、希望の時間に通知が届く設定をすることも可能です。

また、こまめに不要な電気を消した、生ごみの水切りをしたなどのエコアクションを実践することでポイントが付与され、**貯まったポイントで、県産品やエコグッズなどが当たる抽選に応募**することができます。

便利で楽しく、身近なところからSDGsに取り組んでみましょう！

まずはアプリをダウンロード▶



わたしの夢

Dreams come true.

思いを大切にする記者

齊藤 莉子^{りこ}さん（醸芳中3年生）



RIKO
SAITO

生徒会長として、学校全体でボランティア活動などに参加できる活動を立ち上げてみたいです。

私の夢は、一人一人の思いを大切にする記者になることです。小学生のころから、祖父や父と一緒にニュース番組をよく見ていました。はじめは、つまらないと感じていましたが、次第に世の中の動きが見えてきて、社会情勢などを知るうちに、自分は世の中のために何ができるだろうと考えるようになりました。ロシアによるウクライナ侵攻のニュースの中で、最前線で取材をする記者の姿を目にしたとき、そこで起きている事実を伝える人がいるからこそ、支援の輪が広がっていくのだと気づき、私も、手助けのきっかけとなれる記者になりたいと思うようになりました。

今後は、勉強はもちろん、ボランティア活動などへも積極的に参加し、一人一人の思いに寄り添い考えられる人を目指して頑張ります。

こおりスマイル You have a good smile.



高橋 飛貴^{ひだか}くん

元気いっぱい笑顔いっぱいに育ってね！ ママより♡



齋藤 蒼空^{そら}くん

いつも笑顔でいてね！ ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！ ①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。【応募先】総合政策課
✉seisaku@town.koori.fukushima.jp

QRコードから簡単にメール送信できます▶



広 告

まちのお知らせ

Town information.

マイナンバーカードを使ってみよう！

オンラインで転出届

図税務住民課 ☎582-2114

マイナンバーカードを持っている人は、役場へ来庁することなく、転出の手続きをオンラインで行うことができます。

手続きは
こちらから



■利用できる人

署名用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードがあり、桑折町から他市区町村へ引越しをする人
※本人と同一世帯員の転出手続きができます。

■必要なもの

- 署名用電子証明書が搭載されたマイナンバーカード
- 署名用電子証明書の暗証番号（英数字6～16桁）
- 券面事項入力補助用暗証番号（数字4桁）
- マイナンバーカードに対応したスマートフォンなど

みんなのSDGs



「持続可能な社会をつくるため、会社を未来に残したい」と意気込む佐久間さん（写真中央）

地域貢献、いつまでも—— 代々受け継がれてきた想いを未来へ

日進建設株式会社

地域に根差し、わたしたちの安全安心な暮らしを支えている、日進建設株式会社。道路の修繕や水道管の漏水修理、除雪作業、災害時の復旧工事など、インフラ整備を通して、SDGsの目標「住み続けられるまちづくり」の実現に貢献しています。

社長に就任して2年目の佐久間和敏さんは「代々受け継がれてきた『地域貢献』が一番の理念。いつまでも町の役に立てる会社でありたい」と話します。会社を存続するためにも、人材確保は重要な課題。業界に蔓延する「3K」（きつい・汚い・危険）のイメージを払拭すべく、「新3K」（給料高い・休暇取れる・希望もてる）を掲げ、若者に寄り添った経営を意識。業務に必要な資格や免許取得にかかる費用を会社で負担したり、女性が働きやすい環境を整えたりなど、若手経営者ならではの心配りがあちこちに見られます。

佐久間さんは「建設業は、快適な住まいづくりや未来に繋ぐまちづくりなど、SDGsのあらゆる局面に関与している。持続可能な社会をつくるためにも、次世代に選ばれる会社として、成長し続けたい」と決意を語りました。

【編集後記】

▶中学校や各小学校、幼稚園で行われた卒業・修了式。友達や先生、学び舎との別れを惜しむ気持ちと、新しい世界での日々を期待する気持ちが、マスクのない表情から伝わってきました。私も、懐かしい体育館の匂いに、当時の記憶を膨らませ、十数年ぶりに聞いた母校の校歌を生徒の皆さんと一緒に口ずさみながら撮影していました。あのころは深く考えずに歌っていた校歌が、大人になった今の自分を見つめ直す歌となって響きました（大越）

◆人口（前月比）3月1日付

人口	計	11,193 人	(-11)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,448 人	(-5)
	女	5,745 人	(-6)
世帯数		4,604 世帯	(+5)
転入	31人	出生	1人
転出	23人	死亡	20人

◆今月の納税

- ・固定資産税（1期）

期限 **5月1日** 国

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※**当日午後5時**までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。